

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連		-	-
(四国)		コンビニ（店長）	・景気が悪い時には、仕事に立ち読みに来店したり、駐車場に休憩することが無くなる。最近、そういう人が増えている。
		衣料品専門店（経営者）	・年末も近くなると、少しは買物ムードになってくれるのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・衣料品関係者にとって秋から冬になるこれからの時期は、一年で最もよくなる。9月は雨が多かったが、10月以降は天候に恵まれると、ある程度伸びるのではないかと期待を込めている。
		家電量販店（店員）	・冬のボーナス商戦での持ち直しに期待する。
		乗用車販売店（従業員）	・今後2～3か月の間に新型車の発売を予定しており、新車受注台数の増加に期待している。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車発売に伴う相乗効果で新型車以外の車種も売れてきている。
		乗用車販売店（役員）	・新型車の発売が年末にある。
		住関連専門店（経営者）	・近隣で分譲住宅が多く建っている。金利が低くなっているため、耐久消費財についても多少はよくなるのではないかとと思う。
		旅行代理店（営業部長）	・オリンピックも終わり、秋のベストシーズンに突入する。旅行の予約は微増ではあるものの前年を上回っており、年末年始にも期待したい。
		タクシー運転手	・忘年会シーズンには乗車率も良くなるが、これまでの状況からすると前年より良くなるとは思えない。
		通信会社（営業担当）	・話題の新型スマホの販売が好調。
		通信会社（営業部長）	・9月発売の新商品の納入量が拡大し、10月以降に新商品が発売される。
		通信会社（企画）	・このまま申込件数が従来より多い状況が続くと見込んでいる。
		観光遊園地（職員）	・特別なイベントがあるため。
		ゴルフ場（従業員）	・2～3か月先の予約は、非常に悪かった9月よりはやや良い状況で推移している。
		美容室（経営者）	・今忙しいので更に良くなることを期待する。
		商店街（事務局長）	・円高、株安の基調の中、地方では経済も消費マインドも停滞感が漂っている。財布のひもは固く、特に飲食はデフレが加速している。米大統領選や日ロ首脳会談が消費にとっても転機となる可能性はあるものの、年末までは現在の状況が続くとみている。
		商店街（代表者）	・これからも外国客船のインバウンドが増えると思うが、景気を押し上げるような働きはないだろう。現状は飲食中心で、物販の売上増にはつながらない。
		商店街（代表者）	・東京オリンピック以外に景気が浮揚する要素がなくなってきた。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・天候不順が続いたこともあるが、商店街への入込客数自体が低調。
		スーパー（財務担当）	・節約志向が続く。売価強化を継続するが、単価の下落、来客数は横ばいで、売上高の反転は厳しい。
		コンビニ（総務）	・天候や気温に左右されるが、景気が良くなる要因が見当たらない。
		コンビニ（商品担当）	・他業態含めた競争環境がより厳しくなっている。コンビニ業界再編の動きに注目されて、興味を持った方が来店されるというプラス要素もあるので、良くなるように様々な事にチャレンジしていきたい。
		衣料品専門店（経営者）	・今のところ景気を良くする方法が無い。
		衣料品専門店（総務担当）	・10月に入っても台風が近づくなど、天候不順が続き、気温も高め推移している。秋冬物衣料の不振が続くのではないかと。
		乗用車販売店（従業員）	・年末から年初にかけて新型車の発売もあるが、この数か月は今ある車種での勝負になるので、変わらない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・天候が安定すれば、客が戻ってくるものと期待している。
		一般レストラン（経営者）	・高額商品の注文は少ないが、低価格商品は一定の需要があり、大きな社会的変化が無い限り、現状のまま。
		観光型旅館（経営者）	・10月、11月の予約状況も例年よりやや増えているが、全体的に景気が良くなったという感じではない。

	都市型ホテル（経営者）	・大型のコンベンション等、今後も結構受注している。その関係でパンケットが少しは回復するかもしれない。宿泊については、あまり変わらない。
	通信会社（支店長）	・大きな変化をもたらす要素が見当たらない。
	設計事務所（所長）	・特に我々のようなサービス業においては、人手不足が深刻で、このままでは失速する恐れがある。
	商店街（代表者）	・顧客の動向や周辺からは景気の良い話は聞けず、全般的に売上確保に苦労しているようだ。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・雨の日が多く、年末までに大きなイベントも無く、良くならないと思う。発表会などに使う商品の予約も単価を抑えられている。
	百貨店（営業担当）	・当店の周年事業を展開している。街に人が来ることで、少しは売上が回復する。
	百貨店（販売促進担当）	・デフレの兆候も見られ、中間層を中心とした消費動向の見通しが厳しい。
	スーパー（企画担当）	・天候不順の影響から青果物の不作等を心配しており、品質と価格に問題が出るかもしれない。肉も高値で推移すると思われる。来店客数が回復しても、生鮮品の高値で買い控えが続く。
	競艇場（職員）	・11月は、機械更改のため18日間休催となるため売上は期待できない。12月は例年大きなレースが開催され、売上増が期待できる。
	住宅販売会社（従業員）	・現在もイベントの来場者数は少なく、今後も受注が増加することは望めない。
	× 一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気が良ければ消費者の購買意欲がわくだろうが、その要素が全くない。
	× スーパー（店長）	・競合店の出店が続く、それがお客様を奪い合うこととなり、景気が伸びないのではないかと。求人にも応募者が少なく、販売したくても販売できない状況となっている。年末に向けて更に深刻になるとみられる。
	× コンビニ（店長）	・顧客の購買意欲に改善は見られず、まだまだ悪化が懸念される。
企業 動向 関連 (四国)	-	-
	食料品製造業（商品統括）	・将来への不安要因がクローズアップされ、消費の縮小は懸念されるが、政府の年金政策・税制への対応は評価できる。
	木材木製品製造業	・景気対策等による明るい話題に期待したい。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・年末需要に向けて、受注は着実に増加してきている。
	食料品製造業（経営者）	・原材料の高騰、最低賃金の上昇、小売店でのデフレ継続の中、収益向上が見込めない。
	鉄鋼業（総務部長）	・造船向け、産業用機械向け、ともに浮揚の兆しは見えない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・太陽光の次に期待しているバイオマス発電について、国やファイナンス会社が認可の方向に向くようになった。
	建設会社（経理担当）	・民間工事受注により、受注高は増加。売上高も伸びたが、競争も厳しく、景気は変わらない。
	建設業（経営者）	・補正予算も地方ではあまり期待できない。
	建設業（経営者）	・これから第3四半期にかけて自治体の発注に期待している。手持ちの仕事で竣工、納品できるものが出てくるため、あまり変わらない。
	輸送業（経営者）	・やはり長期的な不安がぬぐえない。
	輸送業（営業）	・年末に向け季節商材を中心とした一般消費財の消費拡大に期待する。購買意欲の活性化は天候に左右されるので、先行きは不透明である。
	輸送業（支店長）	・原油価格が安定しており、軽油単価が10円/ℓ程度安くなっている。この価格水準で推移すれば、ある程度の利益が見込める。
	通信業（総務担当）	・景気に影響する要素が見受けられない。
	金融業（副支店長）	・人手不足、人材不足を課題としている取引先が多く、売上増に向けた戦略を取れない環境になっている。当地域の労働人口状況を勘案すれば、現状は当面続くのではないかと。
	広告代理店（経営者）	・地元資本の多くの取引先は、長期に渡る消費低迷のため広告費の削減が続いている。大手資本の新規出店予定はあるが、積極的に展開する地元得意先は少なく、あまり変わらない。
公認会計士	・道後温泉のホテル関係は若干景気が良いようであるが、それ以外の業種に関しては変わりがないようだ。設備投資も後る向きに考える経営者が多いことから、景気は変わらない。	
繊維工業（経営者）	・経済面での活性化が見えないなか、消費マインドもプラスに転じる要因が見込めない。	

		不動産業（経営者）	・低金利で借換え需要はあるが、新規の顧客はなかなか見つからない。先行き不安の状況で、不動産のような大きなものは、もう少し様子を見ようという傾向がみられる。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新興国経済の減速、原油価格、為替、地政学上の問題等、下振れリスクは高まっている。
雇用 関連 (四国)		-	-
		人材派遣会社（営業）	・最低賃金の変更に伴い、全体的に賃金ベースが上昇し、消費者としては景気がやや改善していく状況。雇用主としては経費の効率化が問われる厳しい状況。
		職業安定所	・8月の有効求人倍率は1.33倍と、2か月連続で上昇した。前年比でも0.16ポイントと上昇しており、やや良くなる。
		民間職業紹介機関（所長）	・来年の新卒採用がまだ出来ていない中小企業が多く、年末年始にかけて随時採用活動を行っていくと聞いている。人材が集まらなければ設備投資も出来ない、というジレンマを抱えている企業が多く見受けられる。
		人材派遣会社（営業担当）	・需要が増える要素が見当たらない。
		職業安定所（職員）	・対事業所サービスを行っている事業所からも好転している感は聞かれない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業からの求人は順調だが、これは人手不足への対応であり、景気動向とは関係ない。
		人材派遣会社（営業担当）	・有効求人数が増加しており、派遣離れが懸念される。一般職の求人は少なく、専門職が増加していることから、就労にはつながりにくい。
		求人情報誌（営業）	・地元中小企業の深刻な人材不足が解消されない状況が続くようであれば、景気は悪くなる。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期も過ぎ、求人数の減少が予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・特に良い要素がない。
	×	-	-